

オープンアクセス化の現状把握に係る業務委託 仕様書

1 件名

令和6年度 オープンアクセス化の現状把握に係る業務委託

2 業務目的

研究成果のオープンアクセス化を進めるにあたり、横浜市立大学所属研究者の発表論文数や投稿先、オープンアクセスの状況などについて、現状を把握することを目的とする。

分野別・著者の学部別等のオープンアクセス状況や投稿先を分析し、今後の適切な支援体制の検討に活用する。

3 業務内容

(1) 著作物データの出力

次のデータベースに収録されている著作物（論文等）のうち、横浜市立大学所属研究者が著者に含まれている著作物を検索し、EndNote basic に登録する。

EndNote basic には、出力したデータベースごとにフォルダ分けして登録する。

全データベースから出力後、「分類＞重複の検索」より重複するタイトルを検索し、重複分を削除する。（「ア 検索対象データベース」の No が小さいデータベースから出力した情報を優先して残すこと）

EndNote basic に登録した全データを、フォルダごとに「スタイル：Tab Delimited」形式で出力し、Excel ファイルに貼り付け、体裁を整えて『著作物リスト』を作成する。

ア 検索対象データベース

No	データベース名	著作物データ数（2024年8月時点）
①	Web of Science	6,517 件
②	ScienceDirect	1,861 件
③	CiNii Research	1,857 件
④	医中誌 Web	8,552 件

※各データベースからの出力方法は、「附録A」を参照。

イ 検索条件

対象期間…発行期間が2020年1月1日～2023年12月31日

著者の所属機関（機関、著者所属、Affiliation、Author affiliation など）
…「横浜市立大学（Yokohama City University）」が含まれる機関名

ウ EndNote basic からの出力項目

EndNote basic から出力できる項目すべてを対象とする。

※主な項目は、「附録B」を参照。

(2) 著者リストの作成

(1) で作成した『著作物リスト』の「論題」（著作物名、title）をキーワードとして、researchmap（<https://researchmap.jp/>）で検索を行い、検索結果の著者のデータを確認し、「横浜市立大学」に所属、または過去に所属していた研究者の著者データを Excel ファイルに貼り付け、『著者リス

ト』を作成する。

ア researchmap からの出力項目

- ・ 研究者名（日本語・よみ・アルファベット表記）
- ・ 現在の所属（機関名・学部名等）
- ・ （現在の所属が横浜市立大学以外の著者のみ）横浜市立大学所属時の「所属」
- ・ 現在の職位
- ・ 学位（最終学歴）
- ・ researchmap 会員 ID
- ・ 連絡先（メールアドレスなど）

イ その他、著者リストに記載する項目

（１）で作成した『著作物リスト』より、次の項目を転記する。

- ・ 筆頭著者フラグ
※ 本学所属の著者が１名の場合は、該当の著者にフラグ（●）をつける。著者が複数いる場合は、一番手前に名前が記載されている本学所属の著者にフラグ（●）をつける。
- ・ 著作物のタイトル（論題等）
- ・ 著作物の掲載誌名（雑誌名等）
- ・ 著作物の掲載誌の発行元（出版社・学会等）

（３）著作物のオンライン公開状況の調査

（１）で作成した『著作物リスト』のうち、「①Web of Science」から出力した著作物を除いたものについて、「論題」（著作物名、title）をキーワードとして Google Scholar (<https://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja>) で検索を行い、著作物がオンラインで公開されているかどうかを調査する。

オンラインで公開されている場合は、『著作物リスト』に公開先の URL を転記する。

なお、オンライン公開の調査は委託者が提供するネットワーク環境外で実施することとする。

（４）著作物の収録誌（雑誌）の論文掲載許諾状況の調査

（１）で作成した『著作物リスト』の「雑誌名（誌名・収録先）」をキーワードとして、次のツールを用いて、収録誌（雑誌）の論文掲載許諾状況（リポジトリ掲載可否及び embargo）を調査する。

調査結果は、『著作物リスト』に記載する。

ア 国内文献の調査方法

- ・ 学協会著作権ポリシーデータベース（Society Copyright Policies in Japan）(<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/216>) にアクセスする。
- ・ スプレッドシートを開き、論題もしくは ISSN で該当収録誌を検索する。
- ・ 「ポリシー」列の記載を調査結果に転記する。
- ・ 該当収録誌が無い場合は「該当なし」とする。

イ 外国文献の調査方法

- ・ Sherpa Romeo (<https://www.sherpa.ac.uk/romeo/>) にアクセスする。
- ・ 「Journal Title or ISSN」で該当収録誌を検索する。
- ・ 「Publisher Policy」の「Accepted Version」を展開する。

※ 「Accepted Version」が複数存在する場合は「Institutional Repository」が対象に含まれる方を選択する。

- ・ 「Location」に「Institutional Repository」があることを確認する。
- ・ 「Prerequisites」「Embargo」「Conditions」の記載を調査結果に記録する。
- ・ 該当収録誌が無い場合は「該当なし」とする。

(5) 著作物の投稿先の分析

(1) で作成した『著作物リスト』へ、(2) で作成した『著者リスト』のうち「筆頭著者フラグ」が入力されているデータを対象に、著者の所属（学部等）を転記する。（Excel の Vlook 関数等を用いてよい）

転記後の『著作物リスト』をもとに、本学所属研究者の著作物の投稿先（出版社・学会等）を、著者の所属別に集計する。

なお、集計や分析方法については、委託者と協議のうえ、決定する。

4 提出する成果物

- (1) 著作物リスト（Excel ファイル）
- (2) 著者リスト（Excel ファイル）
- (3) 「3 (5)」の集計結果（Excel ファイル）

5 成果物の提出期限

令和 7 年 3 月 14 日（金）

6 業務環境

データの出力作業（各データベースや EndNote basic を使用する作業）は、委託者が提供する端末を用いて作業してもよい。

(1) 実施場所

横浜市立大学学術情報センター（横浜市金沢区瀬戸 22-2）

(2) 利用可能時間

平日 8 時 30 分～17 時 15 分。

ただし、実施場所である学術情報センターが休館の場合は、利用不可とする。

(3) 備品、事務用品、作業端末等

- ・ 作業用の端末の提供台数は、上限を 3 台とする。
- ・ 作業時に必要な各種データベースのアカウントは、委託者から提供することができる。

7 厳守事項

(1) 受託者は、業務遂行上知り得た情報を他に漏らし、また、業務目的以外に利用してはならない。業務を離れた場合も同様とする。

(2) 受託者の責めに帰すべき事由により発生した作業工程上の資料毀損、紛失等の損害は、受託者が弁済すること。また、受託者が故意又は過失により委託者又は第三者に損害を与えた場合、その損害を賠償するものとする。

- (3) その他、委託契約約款及び委託契約約款 第 22 条第 1 項にかかる特記仕様書に定める事項を遵守すること。

8 その他

本仕様書に記載のない事項について対応する必要がある場合は信義に基づき誠実に委託者及び受託者で協議し、かつ、適切に対応すること。

附録A 各データベースから「EndNote Online」へのデータ登録の流れ

①Web of Science

検索結果画面の「export」から「EndNote Online」を選択する。

「Full Record and Cited References」を選択して、export する。

②Science Direct

検索結果画面の「export」から「Export citation to RIS」を選択する。

出力したファイル結果を Endnote にインポートする。(インポート時のオプションは「Science Direct」を選択)

③CiNii Research

検索結果を「雑誌論文」に限定し、「新しいウィンドウで開く」のメニューから「EndNote に書き出し」を選び、ファイルを保存する。

出力したファイル結果を Endnote にインポートする。(インポート時のオプションは「RefMan RIS」を選択)

④医中誌 Web

検索結果画面の「ダイレクトエクスポート」ボタンを押し、「Endnote Online」を選択する。

附録B EndNote basic から出力する主な項目

- ・資料種別
- ・著者
- ・出版年
- ・タイトル
- ・掲載誌名
- ・出版地
- ・出版社
- ・巻号
- ・ページ数
- ・ISSN
- ・URL (DOI など)

附録C 著者リストのイメージ（掲載誌名以降は省略）

著者名	著作物名（論題）	掲載誌名	筆頭著者フラグ
横市太郎	論文A	雑誌乙	●
山田花子	論文A	雑誌乙	
山田花子	論文B	雑誌甲	●
山田花子	論文C	雑誌丙	●
横浜市郎	論文C	雑誌丙	